Niigata
Award
News
(食の新潟国際賞財団通信)

2026/3/30　第58号

Niigata Award

2026年食の新潟国際賞財団　新春講演会　開催
第6回食の新潟国際賞大賞受賞ペシャワール会　講演会開催
第1回新潟市名誉市民　佐野藤三郎まんが感想文コンクール
表彰式開催　／　入賞者と特選作品

2026年新春講演会　開催
「分断化する国際情勢と大転換期を迎えた日本農業を展望する」― 新潟へのメッセージ ―

恒例の新春講演会を2月9日（月）に新潟市のホテルイタリア軒で開催し、財団の会員をはじめ75名が参加した。

今回は、長引くロシアのウクライナ侵攻や、混迷を深める中東情勢を背景に、「分断化する国際情勢と大転換期を迎えた日本農業を展望する」というテーマで2人の専門家に講演をいただいた。

世界情勢は混沌とし、自国ファーストの風潮が増す中、世界は分断化が進み。国際協調や国境を越えた国際協力や支援活動が危機にさらされています。そうした中で、激動する世界情勢と世界の食糧問題等をどう乗り越えられるか、参加者の関心も高かった。

2026年2月9日(月)　ホテルイタリア軒

《基 調 講 演 1》「日本経済の転換期に農業はどう対応するのか」－食料システム論から米政策を検証する－

武本　俊彦 氏　新潟食料農業大学　名誉教授
「新潟市農業将来ビジョン」研究委員会　座長

明治以降これまでの日本の社会・経済の歴史的推移を整理して、農業の特徴について説明した。武本氏が長年研究している、食料システム論について、(1)農業の生産から消費をつなぐ食料システムの考え方、(2)食料システムはだれが動かすのか、(3)食料システムとはどういうものか、について解説した。それに基づき米政策はどのように行われ、今後、どのように対応すべきかを(1)米政策の制度変化、(2)令和の米騒動の持つ意味、(3)政策改革の基本方向の内容によって説明した。

そして、主食である米政策のあるべき姿は、需給変動等のリスクに対する政府の役割の発揮が重要であること。公正な市場取引を前提とし、消費者の家計の安定と生産者の経営の安定を基本に、透明性と効率性を促進する政策の実施が必要であること。需給変動等に伴うリスクが食料システムを構成する各部門に共有されるよう改革していく必要があると強調した。

《基 調 講 演 2》「予測不可能な世界情勢と日本の針路」―わたしたちは何ができるか？―

赤阪　清隆 氏　公益財団法人ニッポンドットコム理事長
元国連事務次長

世界は強権的な指導者の時代に入ったことをメインに幅広く話を展開した。

第2次トランプ政権は66もの国際機関を脱退し、ベネズエラやグリーンランド等を力で支配しようとしていること。また、中国は米国を追い越すのか、台湾に侵攻するのか等に言及した。さらに、世界的な気候変動や7,300万人が直面する飢餓など、世界の食糧供給問題や、日本役割なども説明した。

こうした状況の中で生成AIが劇的な進歩をしており人間の生活や仕事に深く関わってきて、便利ではあるが「ユーザーを食い尽くす」恐れもある。また強権国家がコントロールすることの危険もある。SNSの活用も含め弱肉強食ともいえる状況の中で一定のルール化も求められていること等をわかりやすく語った。

医師 中村 哲 とペシャワール会の軌跡と継承 ―荒野に希望の灯をともす―
講 演 会 開 催 報 告

中村哲氏はアフガニスタン等での医療救援活動を35年にわたり展開。
この間、干ばつの悪化により、井戸掘削や用水路建設に取組み、緑地と農業を再生して多く命を救った。この功績により2020年の第6回食の新潟国際賞の大賞を受賞した。
中村氏は、前年12月にフガニスタンで凶弾に倒れたため、食の新潟国際賞は「中村哲、ペシャワール会、PMS(平和医療団・日本)」に贈呈され、表彰式に村上優会長と中村氏の令娘の秋子さんが出席した。
今回のセミナーでは、中村哲氏と長年共に歩んできた藤田千代子氏をお招きし、現地の状況や、中村哲氏の信念と次代に託されたものをお聞きした。

第6回食の新潟国際賞　大賞を受賞

講師 藤田　千代子 氏　ペシャワール会PMS支援室長

日　時　2026年 3月 11日 (水) 13:30～15:30
会　場　日報ホール 新潟日報メディアシップ

■ 略歴
鹿児島県出身。徳洲会病院勤務を経て1990年中村哲医師の赴任先であったパキスタン・ペシャワールのミッション病院へ看護師として赴任。以降、医療活動を始め、井戸掘り、食糧配給、その後の用水路事業等、一貫して中村医師の現地活動を支え、PMS基地病院では、院長代理の責務を果たした。
現在ペシャワール会PMS支援室室長およびPMS総院長補佐として、現地活動を支えている。2022年フローレンス・ナイチゲール記章を受章。

■ 食の新潟国際賞を2020年に受賞し表彰とご支援をいただきました。現地で有効に使わせていただいております。直前に中村哲が亡くなり、私たちが悲しみにくれている時に、賞をいただき大変な励ましになりました。
現地の人たちは中村哲を失った喪失感を強く感じていたところに、日本の人たちは中村医師がいなくなっても、自分たちのことを支えてくれているというので、大変感謝をしております。同時に私たちは「中村先生が実践してきた事業は全て引き継ぐ、中村先生の希望は全て引き継ぐ」と改めて誓いました。

■ 去年は大きなできごとが2つありました。1つは、中村先生の活動の原点であった、ハンセン病の診療をする次の世代の人たちに技術を伝達するためのトレーニングセンターを開設することができたこと。小規模で始めました。ドクター中村メモリアルセンターと中村先生の名前をつけて、看板も診療所に掲げてあります。
もう1つは、8月31日に大地震がありました。私はこの時もちょうど滞在しておりまして。真夜中だったんですが揺れで目が覚め、これで私もおしまいかと思ったぐらいの大きな揺れが来ました。震源地は私たちが今運営するクリニックのすぐ隣でした。それから医療と農業のスタッフが何人か集まって調査チームを作り現地調査に入りました。
被災地は大変厳しい場所が多く、標高2000mとかの高地もあり、危険な場所も多かったのですが、食料や毛布を届けるため被災地に入って支援活動を行いました。

■ 灌漑・水利事業
2002年に大干ばつからの農村復興を目指すため「緑の大地計画」を立案し、井戸では十分な水の供給が無理となったため、クナール河から取水する用水路建設に着工しました。この用水路はガンベリ沙漠まで現在27kmが開通しました。
建設には日本の伝統技術が多用され、年間を通して安定した水量を確保できる「PMS取水方式」を確立して、他地域への普及活動も行い、中村医師が亡くなった後もPMS職員によって活動は継続され、2023年現在で約23,800ヘクタールの農地が回復し、70万人以上の生活を支えています。

■ 農業事業
用水路終点のガンベリへ移したPMS試験農場では、自給自足を目的として230ヘクタールの開墾を進め、穀類や野菜、柑橘類だけでなく、畜産や養蜂など多角的な試みが実践中である。2022年からはサツマイモの試験栽培を再開し干ばつ下での食糧不足を補える作物として期待が高まっています。

藤田千代子氏の講演資料より借用

新潟市名誉市民　佐野藤三郎まんが感想文コンクール　表彰式開催

■　新潟市名誉市民　佐野藤三郎氏の功績を若い人にもっと知ってもらおうと、小学5、6年生を対象に開催された、「佐野藤三郎まんが感想文コンクール」の表彰式が1月31日に新潟市の日報ホールで行われました。
　表彰されたのは応募者115人の中から選ばれた、佳作7人、優秀賞10人、最優秀賞11人、特選2人の計30人です。
　この日は受賞者24人をはじめ来賓や保護者など135人が出席し、ひとりひとりに賞状と副賞の図書券が贈られました。
　特選の新潟市長賞に選ばれた中村仁美さんには中原八一新潟市長から、新潟市教育長賞の阿保涼子さんには夏目久義教育長から、賞状と盾、図書券が贈られました。表彰に続いて2人は自身の作文を朗読しました。

新潟市長賞　　中村仁美さん
（亀田西小学校 6年）

新潟市教育長賞　　阿保涼子さん
（上山小学校 6年）

主催者代表挨拶

佐野藤三郎顕彰委員会　会長
（公財）食の新潟国際賞財団　　池田　弘　理事長

　食の新潟国際賞財団は記念事業として、佐野さんをより多くの若い人達から知っていただくために佐野さんのマンガを出版いたしました。佐野さんの功績と志を次の世代にどう引き継いでゆくかが大きな課題ですが、継承事業の一つとして、マンガ感想文コンクールを開催しました。これを機会に、ふるさと新潟の歴史と文化を学び、先人たちの知恵と足跡を知り、ふるさと新潟をこれまで以上に好きになってほしいと思います。

ご来賓祝辞

新潟市長　中原　八一　様

　栄えある賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。
　皆様が佐野藤三郎さんの偉業から学び、郷土への思いや未来への夢を豊かな感性で表現された結果です。心よりお祝い申し上げます。
　佐野さんは、新潟の農業の発展だけでなく、「都市と農業が調和する新潟市」の礎を築いたまちづくりや、中国黒竜江省での農業開発にも尽力しました。その情熱と先見性は、私たち市民の誇りであり、未来への道しるべです。佐野さんから多くのことを学び、自らの言葉で表現する経験は、皆さんのかけがえのない財産となるでしょう。

審査委員長　講評

新潟青陵大学　特任教授　伊藤　充　先生

　審査員は、次の点を大切に審査を行いました。
　①佐野藤三郎氏が尽力した農業、まちづくり、国際協力など、夢や目標に向かって頑張ることの大切さを、新潟や故郷に、もしくは自分の未来につなげて表現しているか。②読者の興味を引く内容か。③ 独創的な発想や表現意欲が感じられるか。
　どの作品も読み応えのある作品に仕上がっており審査は大変難航しました。
　佐野藤三郎という偉大な人格に触れることにより、自分や故郷新潟を見直し、自分の未来と新潟の未来を結び付けた夢を意識して、新潟市や新潟市民の素晴らしさを感じてくれた貴重な機会だったと思います。

新潟市名誉市民　佐野藤三郎まんが感想文コンクール　表彰式開催

■　コンクールでは、食の新潟国際賞財団の佐野藤三郎顕彰委員会を構成する各団体からご協力をいただきました。最優秀賞の11人には、各団体から賞が贈られ、代表者から賞状と図書券を贈呈していただきました。
　入賞したどの作品も、佐野氏の功績や思いを、作者なりの視点からとらえ、ふるさと新潟への思いに加えて、自身の夢や希望などが表現されています。
　作者なりの言葉で佐野さんを理解し、表現しようとする前向きな姿勢がうかがえ、佐野藤三郎氏の夢を次の世代に引き継ぐ、とても良い機会になりました。

【食の新潟国際賞財団　理事長賞】

「「亀田郷の明日」を
創った人」

新津第三小学校　6年
長谷川　瑠美　さん

【亀田郷土地改良区　理事長賞】

「亀田郷の守り神」

上所小学校　5年
水野　千紗　さん

【新潟経済同友会賞】

「新たなる自分への
第一歩」

浜浦小学校　5年
加賀　壮一郎　さん

【新潟商工会議所　会頭賞】

「ふるさとのために」

新津第一小学校　6年
猪股　尚凱　さん

【亀田商工会議所　会頭賞】

「アイデアマン佐野藤三郎」

南万代小学校　5年
岡田　莉紗子　さん

【新潟日報社賞】

「情熱の人」

岡方第一小学校　6年
蒲澤　心和　さん

【新潟県日中友好協会　会長賞】

「私の知らなかった
亀田郷」

横越小学校　5年
小椋　禾暖　さん

【にいがた22の会　会長賞】

「努力の塊
佐野藤三郎」

浜浦小学校　6年
小林　紗和さん

【新潟県対外科学技術交流協会賞】

「佐野藤三郎さんがいた
から今の亀田がある」

亀田西小学校　5年
荻荘　百合　さん

【新潟県土地改良事業団体連合会　会長賞】

「たくさんの人々のために
あきらめない力」

黒埼南小学校　6年
山際　佳奈　さん

【古泉財団賞】

「「にいがた偉人伝
佐野藤三郎」を読んで」

坂井東小学校　5年
北爪　結心　さん

最優秀賞受賞の皆さん ▶

新潟市名誉市民　佐野藤三郎まんが感想文コンクール　表彰式開催

■応募作品数（小学校別）

（5年生37作品、6年生78作品）

	学校名	総数	5年生	6年生
1	大淵小学校	49	23	26
2	新津第三小学校	32	4	28
3	上山小学校	12	2	10
4	南万代小学校	3	1	2
5	浜浦小学校	2		2
6	横越小学校	2	2	
7	亀田西小学校	2	1	1
8	新津第一小学校	2		2
9	鏡淵小学校	1		1
10	荻川小学校	1	1	
11	亀田東小学校	1		1
12	上所小学校	1	1	
13	岡方第一小学校	1		1
14	木崎小学校	1		1
15	桜が丘小学校	1		1
16	漆山小学校	1		1
17	山田小学校	1	1	
18	坂井東小学校	1	1	
19	黒埼南小学校	1		1
	合計	115	37	78

- ◯　作品募集　　：　8月11日～ 9月30日
- ◯　一次審査　　：10月10日～10月28日
- ◯　二次審査　　：11月16日～12月　6日
- ◯　最終審査会議：12月　8日

優秀賞受賞の皆さん

佳作受賞の皆さん

閉会挨拶

新潟県対外科学技術交流協会　理事長
佐野藤三郎顕彰委員会　　中山　輝也　副会長

受賞された皆さんの晴れやかなお顔を拝見し大変うれしく思います。
私事ですが、佐野藤三郎さんから「中国へちょっと一緒に行かないか」とお誘いを受けたことが、三江平原開発のお手伝の始まりでした。今から47年前の話しです。佐野さんは情熱、誠実、愛、そして夢を持った方でした。
佐野さんはその功績により新潟市名誉市民となりました。特に、新潟の未来を作る若い皆さんから佐野さんを知って欲しいと心から願っております。佐野さんを知ることは新潟の歴史、苦労、今日の課題、そして未来を考えることに他ならないと思うからです。
今年も開催致しますので、ご協力と多数のご応募をお願い申し上げます。

新潟市名誉市民　佐野藤三郎まんが感想文コンクール　実施報告

■審査委員（敬称略）

	氏 名	職 名
委員長	伊藤　充	新潟青陵大学　特任教授
専門委員	貝沼　浩晃	新潟市立早通小学校　校長
専門委員	小川　和宏	新潟市立新津第一小学校　校長
専門委員	大矢　和憲	新潟市立和納小学校　校長
専門委員	中谷　記子	新潟市立上山小学校　校長
委 員	山本　献	新潟日報社　地域ビジネス部　企画推進担当部長
委 員	伊藤　忠雄	新潟大学　名誉教授
委 員	遠藤　二郎	亀田郷土地改良区　事務局長
委 員	長谷川克弥	にいがた22の会　会長
副委員長	鈴木　伸作	（公財）食の新潟国際賞財団　常務理事

■応募作品数

5年生37作品、6年生78作品

■スケジュール

作品募集　：　8月11日～ 9月30日
一次審査　：10月10日～10月28日
二次審査　：11月16日～12月 6日
最終審査会議：12月 8日
表彰式　：　1月31日

■ 特　選

【新潟市長賞】　「想いはつながる　大好きな亀田」　亀田西小学校　6年　中村　仁美
【新潟市教育長賞】「夢を追い求めることの大切さ」　上山小学校　6年　阿保　涼子

■最優秀賞

「亀田郷の明日」を創った人」　新津第三小学校　6年　長谷川　瑠美
「亀田郷の守り神」　上所小学校　5年　水野　千紗
「新たなる自分への第一歩」　浜浦小学校　5年　加賀　壮一郎
「ふるさとのために」　新津第一小学校　6年　猪股　尚凱
「アイデアマン佐野藤三郎」　南万代小学校　5年　岡田　莉紗子
「情熱の人」　岡方第一小学校　6年　蒲澤　心和
「私の知らなかった亀田郷」　横越小学校　5年　小椋　禾暖
「努力の塊　佐野藤三郎」　浜浦小学校　6年　小林　紗和
「佐野藤三郎さんがいたから今の亀田がある」　亀田西小学校　5年　荻荘　百合
「たくさんの人々のためにあきらめない力」　黒埼南小学校　6年　山際　佳奈
「「にいがた偉人伝　佐野藤三郎」を読んで」　坂井東小学校　5年　北爪　結心

■優 秀 賞

「未来を変えるために」　大淵小学校　5年　平　彩央
「亀田郷の歴史に驚き」　木崎小学校　6年　岩淵　塁
「佐野藤三郎のすごいところ」　桜が丘小学校　6年　阿部　ほなみ
「このまんがで気付いた自分の目標」　新津第三小学校　6年　片桐　汐里
「佐野藤三郎のように頑張りたい僕」　漆山小学校　6年　灰野　当義
「あきらめない」　山田小学校　5年　石崎　七海
「佐野藤三郎の努力を知って」　大淵小学校　6年　鈴木　かよ
「行動力のある人佐野藤三郎」　上山小学校　6年　山内　優花
「佐野さんのお話をよんで」　上山小学校　6年　桐生　貴子
「勇気ある郷の英雄」　荻川小学校　5年　榊原　理仁

■佳　作

「佐野藤三郎の行いを知って考えたこと」　亀田東小学校　6年　吉田　惺
「越後のお父っつぁま　佐野藤三郎」　新津第三小学校　5年　本間　陽一朗
「冷静さとあきらめない心」　新津第三小学校　6年　田村　穂和
「佐野藤三郎を読んで」　大淵小学校　6年　長谷川　真衣
「佐野藤三郎」　横越小学校　5年　大澤　詩衣
「未来につないだ亀田郷」　鏡淵小学校　6年　岩本　紗空
「お米の難問を解決した佐野藤三郎さん」　大淵小学校　5年　櫻川　久遠

新潟市名誉市民　佐野藤三郎まんが感想文コンクール　実施報告

想いはつながる　大好きな亀田

亀田西小学校　六年　中村　仁美

私は、亀田の街が大好きです。この大好きな街は、佐野藤三郎さんの想いや人とのつながりで発展したと知りました。

私が佐野藤三郎さんの活動を通して、一番感動したことは、困難や難しい課題があっても、挑戦してあきらめなかったことです。四年生の時、社会科の学習で亀田郷の昔の暮らしや田について学びました。江南区文化会館の資料館や写真、動画などを見ました。胸まで泥のある田んぼでの作業は。重労働でとても大変だと思いました。また、排水機場も見学しました。想像よりも大きかったので、おどろきました。

排水機場を作ったことで、当時の農業の仕事は、安定しました。仕事が楽になったことで、どんなに当時の人は助かって、笑顔になったことでしょう。そして、それは現在も続いていて、亀田には多くの住宅や店、人が集まりました。佐野藤三郎さんの想いがつながって、私達の暮らしを守っているのだと感じました。

二番目に感動したことは、人が考えないような新しいアイデアを出すことです。農家だけではなく、都市の住民も一緒に街づくりをするために亀田郷地域センターができました。中国の土地改良も進め、新潟と中国のハルビンは飛行機で行き来できるようになりました。今は、運休しているので残念です。県庁の移転予定地を使い、ビッグスワンや市民病院などを建てるきっかけを与えてくれました。亀田は、楽しく安心して過せる私の大好きな場所によりなりました。

私は、佐野藤三郎さんの生き方を知って、「本当にすごい人だ。この大好きな亀田を作った人をみんなに知ってほしい。私も伝えていきたい。忘れないでいてほしい。」と強く思いました。私も想いをつなげて、大好きな亀田がこれからも続くように努力していきます。

夢を追い求めることの大切さ

上山小学校　六年　阿保　涼子

私には将来の夢がない。小さい頃は、自分が少しでも興味を持った仕事を何でも「将来の夢」だという無邪気な子供だったが、年を重ねるにつれ夢に向かって努力することに怯えるようになってしまった。そんな私に夢を持つことの大切さと楽しさを教えてくれたのが、この作品である。

忍耐力の体現者のような人間、佐野藤三郎。亀田郷のために一生をかけたこの人は、今にもつながる新潟の土台を作り上げた。私がこの作品を読んで深く印象に残った言葉は、

「子供のケンカはしたくない」

というものである。長い間亀田郷のことだけを想って諦めず努力してきたからこそ、感情的になりそうな場面もあったはずだ。だがそんな中でも藤三郎は、相手の立場で物事を考え、意見を理解しようとしていた。きっと、ただ自分の意見を押し付けるだけでは何も解決しないことを知っていたのだろう。

私はこの姿にとても感銘を受けた。それもそのはず、私はこれまでの学校生活で、運動会の応援団長や委員会の委員長など、いわゆる「リーダーシップ」が必要な仕事に多く挑戦してきた。そんな仕事に「思い通りにいかないこと」なんて付き物だ。そう分かっているつもりでも、やはり苦しみ、悩むことは避けられない。だからこそ、佐野藤三郎のように自分の意見にも相手の意見にも耳を傾け、もとにあったものよりも一歩進んだ意見を考えられるようにしたいと強く感じた。

正直、自分がこの人のような人間になれるとは到底思わない。でも、この人になるべく近づこうと努力することこそが、私の人生の中でのかけがえのない宝物になると確信している。そう考えられるようになっただけでも大きな成長じゃないかと、少し自分を認めてあげられる気がした。

公益財団法人 食の新潟国際賞財団　賛助会員

（令和8年3月現在）
（敬称略・順不同）

● 特　別　会　員

亀田製菓㈱
一正蒲鉾㈱
㈱第四北越銀行
㈱新潟日報社
亀田商工会議所
にいがた22の会
オイシックス・ラ・大地㈱
㈱ブルボン
サトウ食品㈱
㈱栗山米菓
㈱新宣
㈱新潟クボタ
㈱日本食糧新聞社
㈻新潟総合学園
新潟県農業協同組合中央会
亀田郷土地改良区
㈱エイケイ
NST新潟総合テレビ
五十嵐建設工業㈱

● 正　　会　　員

新潟縣信用組合
㈱DI Palette
㈱本間組
石本酒造㈱
㈱ミカサ
神山物産㈱
ハセガワ化成工業㈱
藤屋段ボール㈱
㈱タケショー
BSN新潟放送
新潟陸運㈱
㈱新潟食品運輸
月島食品工業㈱
㈱ニップン関東支店
日本甜菜製糖㈱
㈱鳥梅
新潟工科大学産学交流会
㈱キタック
丸榮製粉㈱
鍋林㈱ヘルスフーヅ事業部
TeNYテレビ新潟放送網
㈱栗田工務店
三和薬品㈱
松田産業㈱
セッツカートン㈱新潟工場
東邦産業㈱
麒麟山酒造㈱
㈱加島屋
㈱日本フードリンク
㈱ディモルギア
UX新潟テレビ21
イカリ消毒㈱
新潟工科大学
㈱田中組
（医）愛仁会　亀田第一病院
㈱ひらせいホームセンター
ワタキューセイモア㈱　新潟営業所
㈱エヌエスアイ
㈱トップライズ
㈱ウオショク
㈱ヤマダ
㈱新潟国際貿易ターミナル
㈱荏原製作所 北陸支社
㈱せいだ
新潟医療生活協同組合

● 個　人　会　員

古泉　肇
近藤　鴻
阿部　徳威
槙坂　文晴
野口　正晴
望月　健三郎
渡邉　信也
田辺　俊文
古泉　幸一
田村　泰生
濵野　剛
遠山　幸男
小林　宏志
宮下　好文
近藤　正
石田　勇介
小林　達
金田　季之
駒形　正明
伊藤　雅明
伊積　豊
大森　武士
藤島　安之
大川　秀雄
渡辺　昭雄
清水　良一
酒井　定勝
山田　雄治
大崎　新一
小田　静二
清水　泰成
山嵜　尉生
小川　善弘
小野　隆樹
柳澤　敏郎
坂田　浩一
高橋　佑
佐藤　正尚
長谷川　久晃
宮島　泰
藤井　大三郎
秋堂　春美
小林　稔
鈴木　春次
和田　充彦
大倉　正寿
坪谷　利之
五十嵐　源一
松本　裕志
鈴木　正二
坂井　俊一
渡邉　徹
阿部　愛子
中村　雪絵
池田　祥護
大橋　祐貴
遠藤　俊介
田中　雅史
荒井　弘美
下條　幸二
酒井　栄一郎
高﨑　俊哉
阿部　貴美
長谷川　克弥
吉田　たかし
徳橋　隆行
廣瀬　利雄
吉岡　謙一
大沢　一衛
新保　房機
當野　篤
竹石　松次
鈴木　伸作
栗田　浩
宮口　澄子
村山　浩太郎
星野　幸三
前田　穣
葉葺　正幸
藤間　佑輔
重泉　篤史
廣川　正通
佐藤　聡
高橋　裕作
大沼　成勝
田中　湖雄
山本　善政
佐野　史枝
山口　勉
坂田　武利
村山　久
古泉　榮三
久保田　紳一
古泉　幸代
佐藤　銀治郎
栗田　朋子
五十嵐　康子
稲葉　晋
糸満　盛人
桐原　隆晃
津島　章彦
品田　卓也
本間　康弘
小谷　尚志
小林　守
小平　勝志
丸山　智史
牧　利幸
小島　隆
松島　浩道
高橋　常孝
門脇　基二
大島　千春
佐藤　純
河瀬　三千夫
大森　ゆかり
加藤　寿一
阿部　文仁
五十嵐　早苗
川﨑　千春
北垣　大介
長井　基樹
舟﨑　義朗
渋谷　政道
中野　克之
田中　弼
阿部　欣也
藤田　正明
岡田　龍
伊藤　正弘
高橋　昭博
田村　敏郎
大谷　勝男
野上　敏
倉嶋　則昭
和澄　孝男
高橋　慶三
石附　由美子
高尾　茂典
高橋　征男
秋山　正之
小林　哲也
岸田　良満
小川　陽一
村山　雄亮
原島　徹
佐藤　浩晃
杉谷　浩一
池田　一史
小野　隆樹
早川　重男
高橋　眞代
杉本　克己
佐藤　久栄
山岸　信一
大越　斎
五十嵐　修
阿部　昭一
斎藤　幸広
五十嵐　豊
高橋　克郎
松川　忠史
岡田　茂久
中村　健一
大日方　聡
北爪　文義
最上　正人
村山　和恵
榊原　由貴
宮嶋　一博
高橋　大介
樋口　正仁
峰尾　昌明

「食の新潟国際賞」は新潟県・新潟市の補助金を受けて実施しています。